



建設通信

2015年1月号
Vol. 51

Qui クイックス株式会社
http://www.quix.co.jp
東京都渋谷区宇田川町2番1号
03-5456-1511 (TEL)
03-5456-1811 (FAX)

発行者

3Dスキャナーは、路面の形状や中大構造物はもとより、映画製作、遺跡の保存、また海外では保険業界が事故情報に利用するなど、幅広い分野で活用し始められている。建築分野で普及しつつある BIM (ビルディング・インフォメーション・モデリング) と組み合わせることで、建設業から他業界に対する新ビジネスのチャンスが増えてきそうだ。

発行責任者 牧坂 勝

日常を変えるクラウドサービス

クラウドは今や、個人での利用からビジネスでの利用まで幅広く活用されています。データのバックアップ用・写真や文書の共有・外出先からのアクセスなど、その用途は様々です。現在多くの会社がクラウドサービスを提供しています。今回は特に有名な会社のサービスをご紹介します。



Dropbox : Dropbox が運営
パソコンだけでなく、スマートフォンなど複数のデバイスからの管理が可能。
料金: 2GB/無料 1TB/月 1200円 他
90日間利用していない場合、データが削除される。



Google ドライブ : Google が運営
Gmail や Google+ などと同様に、共通のアカウントで利用が可能。
料金: 15GB/無料 100GB/月 1.99ドル 他



OneDrive : Microsoft が運営
Word や Excel, PowerPoint などクラウド上で共有できる。
料金: 15GB/無料 100GB/月 100円 他
270日間利用していない場合、データが削除される。



iCloud Drive : Apple が運営
音楽データ・アプリ・画像データも保存できる。
料金: 5GB/無料 20GB/月 100円 他

3次元データの活用~3Dプリンター~

進歩し続ける3Dプリンターは測量業界でも既に活用されています。一例として3Dマップ(立体地図)が災害対策に使われています。東日本大震災をきっかけに、安全性や高さなどが立体的でわかりやすく、地域の防災計画に使えるものを作ることになったようです。国土院では、地形の模型にプロジェクションマッピングをするシステムも試作しており、必要に応じて白い模型に情報を投影し、浸水や土砂崩れの場所を指示できます。3D造形物には「直感的に地形や構造物を理解できる」「シミュレーションが容易になる」などの利点があり、実際に手で触れる事が新しいアイデアに繋がることも期待されています。誰にとっても分かりやすく、現場全体を漏れなく把握できること、それが3次元データの活用です。

CIM, BIMへの対応プログラムが活発な動き

3次元モデルの設計・施工・計画データを土木・建築の分野で利活用するCIM、BIMが今年は本格的になると予想されます。昨年までを振り返ってみても、調査・設計から維持管理までの一貫したデータ共有のプログラムが各メーカーから相次いで発売されており、福井コンピュータからもすでに、X-FIELD や、X-POINT、TrendCoreといったプログラムが発表されています。弊社ではこれまでも建設通信やセミナーでお伝えして来ましたが、測量・設計・施工の分野でも3Dデータの収集・解析・管理がますます必要となってきています。他社との差別化を図り、サービスを向上させていくためには、3Dスキャナーや無人飛行機、解析プログラムなど様々なツールを、新しい業務を生み出す武器として、いち早く活用していくことが、最重要点と言えます。

またBLUETRENDでは基盤地図情報や法務省地図XML、地籍情報等の様々なデータから必要な情報を迅速に取り込み、提供できるプログラムが売れております。業務のスピードUPと差別化を図るツールとしてぜひ活用していきましょう!

今年注目の便利アイテム

現在、どこでも気軽に印刷が出来るモバイルプリンターが注目されているのをご存知ですか?このプリンターの最大のメリットはカバンに入るサイズで時と場所を選ばずにA4サイズが印刷出来る事にあります。バッテリーを内蔵していることや、Wi-Fi・Bluetooth機能によりコードレス対応していること、重さが1.6~2kgと軽量なことが注目されている理由のようです。その場で写真や資料を印刷したいというニーズが増えている事からCANONやEPSONでは、今年に入ってから相次いでNEWモデルを発売しました。弊社でも現場で座標を打ち出したいなど、お問い合わせが増えています。



CANON IP110
(市場価格:3万円前後)



頭文字が同じ杭や電柱などの名称を簡単に入力したい! → 文字の接頭語・接尾語

〇〇1, 〇〇2...のように、文字列の最初や最後に同じ単語がつく文字をたくさん入力したい場合は、BLUE TREND XA 2015からの新機能「接頭語・接尾語付加入力」が便利です。

①汎用タブの文字: 入力もしくは文字: 引出線(引出線の場合は文字入力モード)をクリックしてインプットバーの「詳細」をクリックします。



- ②「接頭」もしくは「接尾」をクリックします。
- ③付加したい単語を入力して「OK」をクリックします。
- ④「OK」をクリックして文字詳細設定を閉じて文字を入力します。

